商工会議所報 むつ

〒035-0071
むつ市小川町二丁目11－４
むつ商工会議所
電　話 0175-22-2281
ＦＡＸ 0175-22-0167
E-mail:somu@mutsucci.or.jp
URL http://www.mutsucci.or.jp/

「海軍ブランド」開発普及事業

大湊海軍まつり開催

去る七月二十日、二十一日、大湊駅前広場において「大湊海軍まつり」が開催された。

「海軍ブランド」商品開発普及の目的で行われた今回は、昨年大好評であったむつ湾産の食材を活用した「海軍カレー」、「海軍弁当」の他、麺にアサリエキスを練り込んだ「海軍ラーメン」、むつ湾で捕れる貝類を炭火で焼いた「貝ぐん焼き」が新登場。また、商工会議所女性会が、「まいづる肉じゃがまつり実行委員会」より取り寄せたレシピ（舞鶴のもとの旧海軍関係の図書に記された作り方）をもとに、「海軍肉じゃが」に挑戦した。

この他、イベント会場においては、大平小学校マーチングバンド、大平中学校吹奏楽部演奏会やレイティスによる「さんせっとコンサート」、街なか花火大会、よさこい・ソーラン大会などの各種イベントが開催され、沢山の市民が会場に訪れた。

しかし、初日は夕方まであいにくの雨模様で予定していたイベントが中止されるなど、屋外で開催されるイベントの難しさを痛感した二日間であった。

大平小マーチングバンド演奏

たくさんの市民で大にぎわい

開会式であいさつする熊谷副会頭

大平中吹奏楽演奏

「海軍ラーメン」はホタテ・アサリ・シャコ・ワカメをトッピング

「海軍ブランド」販売コーナー

よさこい・ソーラン

「海軍肉じゃが」100人分

観光客等にホタテ、つぶ、イカの炭火焼きを提供

日本商工会議所 山口会頭の発言

（平成十四年六月十日開催、福島市で開催された東北六県商工会議所連合会総会での発言）

一、構造改革と景気回復策の、同時進行は、成功例がない。

○景気回復が、先である。

二、外形標準課税の導入で、大部分の企業が増税となるので、反対している。（約八、〇〇〇億円の増税となる。）

○不況の時こそ、減税をすべきである。

○アメリカでは、レーガン元大統領が、不況対策に、住宅主体の大型減税をし、今もそれを継続している。

三、金融監督庁の指導で、金融機関が、金を貸せない状況にある。

○松下幸之助氏は、創業の時、ある銀行の係長の奔走でようやく融資を受け、その後会社が驚異的成長を遂げた。銀行には、そのような発想も大事ではないか。

四、高速道路の、民営化や投資の効率化（利用の少ない地域の工事の凍結等）を政府が検討しているが、これは、中央の論理である。

○高速道路の整備率が低い東北には、傾斜配分が望ましい。

五、商工会議所は、「力のある会議所、痛みのわかる会議所」になってほしい。

青森県経営革新セミナーの開催について（ご案内）

青森県では、本県経済を担う中小企業の経営の安定と雇用の確保を図ることを県政の重点施策に掲げ、厳しい経営環境下にあっても意欲的に新事業等を開拓していく、いわば「自立した企業」の育成を目指して、中小企業の経営革新を積極的に支援しています。

このたび、経営革新に係る施策や経営革新事例等について紹介し、今後の経営計画等の参考としていただく、「青森県経営革新セミナー」を左記のとおり開催いたします。

一、日　時　平成十四年九月九日（月）十三時三十分～十六時

二、会　場　「青森国際ホテル　二階　春秋の間」
〒〇三〇―〇八〇一　青森市新町一―六―十八
電　話　〇一七―七二二―四三二一

三、内　容
◇経営革新支援施策紹介・事例紹介
かねさ株式会社
取締役グループリーダー　秋田谷　宜之　氏
◇特別講演「次代を拓くキーワード〝経営革新〟のすべて」
講師　株式会社アソシエ　広島事務所
所長　川上　正人　氏

【略　歴】
昭和三十八年生まれ。昭和六十二年広島経済大学経済学部卒業。中小企業団体中央会にて組織化指導事業に携わり、その後監査法人に転職。会計監査、株式公開支援業務に従事後、平成五年経営コンサルタントとして独立。平成十三年に株式会社アソシエと業務・資本提携。同時に広島事務所（法人名：株式会社アソシエ）を設立、所長に就任。現在に至る
〈資格〉中小企業診断士、社会保険労務士、消費生活アドバイザー
〈著書〉「中小企業診断士への道」法学書院
「マーケティングに活かす消費者心理」ぎょうせい　等

四、参加料　無　料

◆主　催　青森県
◆問い合わせ先　青森県商工観光労働部経営振興課
電　話　〇一七―七三四―九三七五

『〝はやて〟がやって来る・観光PR強化』

東北新幹線八戸駅開業を間近にして、地元八戸はもちろんのこと、むつ下北地域でも観光客受入に向けた環境整備が急務とされています。

去る七月五日には、八戸駅を起点とした「快速き・ら・き・らみちのく号」が三両編成で運転を開始いたしました。

この日、むつ商工会議所では、新幹線八戸駅開業後の八戸駅から大湊駅までの『直通便確保』を願い、下北観光協議会、むつ市観光協会などの多くの関係団体と連携し、

○大湊ネブタの展示
○むつ湾ホタテ炭火焼の提供
○園児等による手旗での出迎え

特に当所が、むつ市、下北観光協議会、むつ警察署及びＪＲ大湊線関連商工団体連絡協議会と共に作成した

○観光ＰＲのためのノボリや歓迎看板（写真参照）の設置等

様々に趣向を凝らし、「快速き・ら・き・らみちのく（下北号）」を大湊駅で華々しく出迎え、歓迎セレモニーを盛り上げました。

列車を利用された観光客の皆様に大変喜んで頂きました。

これを機会に、むつ下北地域の観光関連業種の方々が、心温まる接客の向上に励み、また下北らしい料理づくりのために一工夫を加えるなど、実践を積み重ねながら受入体制の充実・強化を図って頂きたいと考えております。

新幹線八戸駅開業が、下北半島の経済活性化に大きく貢献し、豊かさをもたらすには、他の観光地に負けない一層の努力が、各々の企業に求められております。

「きらきらみちのく下北号」に体験搭乗

当所七業種部会は、去る七月十二日（金）に、ＪＲ東日本の観光列車「きらきらみちのく下北号」に体験搭乗する事業を実施いたしました。

当日は、前日からの台風六号の影響が懸念されましたが、その影響もなく、晴れ間ののぞく恵まれた天候となりました。

午前七時二十分に貸し切りバスで当所を出発し八戸駅まで直行。九時五十分定刻に着いた八戸駅は、以前とは全く姿を変えた近代的なスタイルになっており、駅正面口よりエスカレーターで上がると、共用されたばかりの連絡通路が視界に飛び込んできます。その広さと空間の心地よさが印象的でした。

「きらきらみちのく下北号」は、十時四十分、五番線より出発です。十分前にホームに降りてきた参加者の皆さんは、列車の横で思い思いに記念写真撮影。乗車してみると側面一面の窓による、車内の明るさに驚き、座席に座れば、グリーン車なみの間隔の広さに快適な気持ちになります。

定刻に出発した列車は、三両編成で一号車と三号車は、片側二列と一列の通常のイスタイプ、二号車は、和風の四人掛けタイプで、靴を脱いでくつろげるスタイルとなっており後部では、イベントを行うコーナーやビデオを上映するディスプレイ、また、お土産品まで販売しております。常時、ワゴンでの車内販売が行われており、体格の立派な販売員の方が酒類やお茶といった飲み物、おつまみ、お弁当などを販売しておりました。

参加者からは、「とてもよかった」「今度は、子供と乗りたい」「弁当がおいしかった」と大好評。「きらきらみちのく～下北号～」・・・多くの観光客を下北に運んでくれることでしょう。

（記Ｔ・Ｉ＆Ｋ・Ｋ）

ものづくり講習会を開催

当商工会議所の五つの業種部会（食品関連業、一般商業、製造・流通業、飲食店・衛生業、観光・サービス業）では、去る七月十六日、午後三時より、下北半島の土産品づくりをテーマとした講習会を開催いたしました。

講師に（有）スコレアカデミーの水井澄人（みずい　すみよ）氏をお迎えし、参加者三十名のもと、新幹線八戸駅開業を間近にして、観光客に喜ばれる土産品づくりの秘訣、販売のシナリオ、成功のポイントについてのお話をうかがいました。

参加者の中には、終了後、個別で講師の水井先生からアドバイスを受ける姿も見受けられ、非常に有意義な講習会でありました。

平成14年
第２四半期
（H14年４～６月期）

景況調査結果報告

本調査は「21あおもり産業総合支援センター」の委託を受け、当所の会員企業を対象に毎年四半期毎に実施しています。

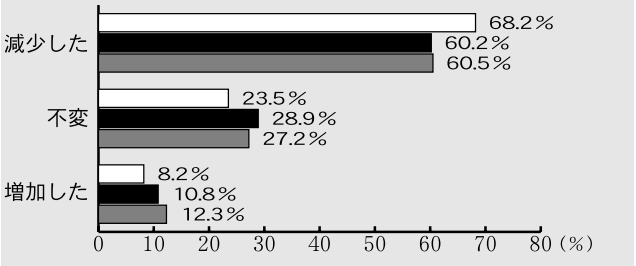
◆調査概要◆
・調査依頼件数：150件
・回答件数：85件（回収率56.6％）
・回答業種：建設業16・製造業13・小売業40
　卸売業14・農業関連２

今回
前回（H14.１～３月期）
１年前（H13.４～６月期）

＊設問の１～３は前年の同時期と比較して回答したもの。
＊グラフは１年前の同時期（13年４～６月期）と前回（14年１～３月期）の調査分と比較したもの。

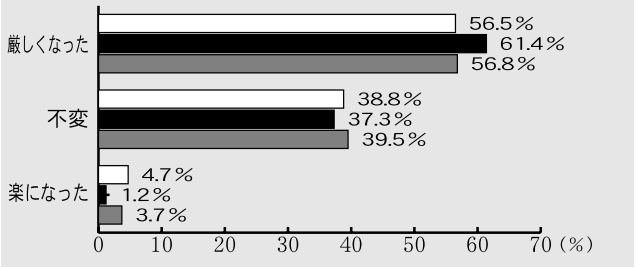
◆コメント◆
今期は設備投資動向のポイントが若干ながら増加した。全体的に見て景況は低調に推移、あるいは悪化しているようである。

設問１．売上の動向



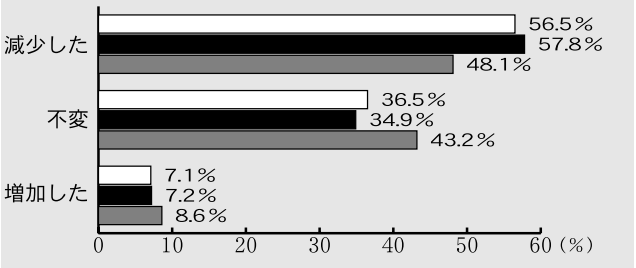
○前期よりも減少したとの回答が増加している。
前期から、全く回復傾向が見られない状況にあるというより、悪化していることがわかる。

設問２．資金繰りの状況



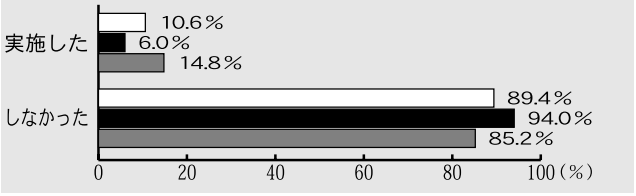
○前期同様、資金繰りの状況は厳しい。

設問３．在庫の状況



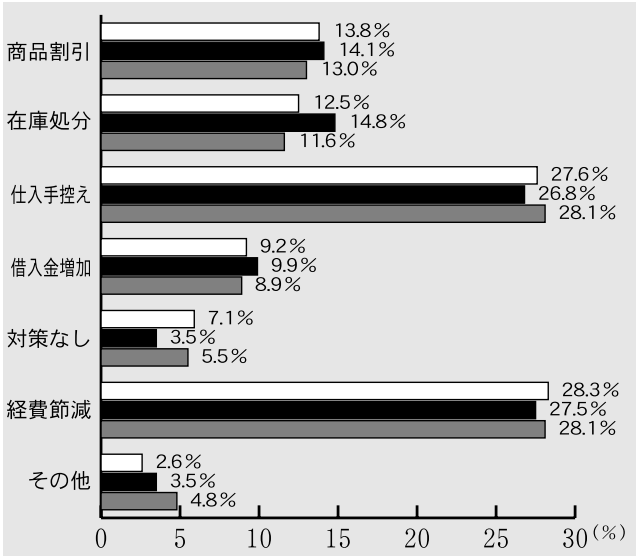
○前期同様、在庫は減少状況にあり、資金繰りの悪化、売上不振から、仕入を手控えていることが推察される。

設問４．設備投資動向



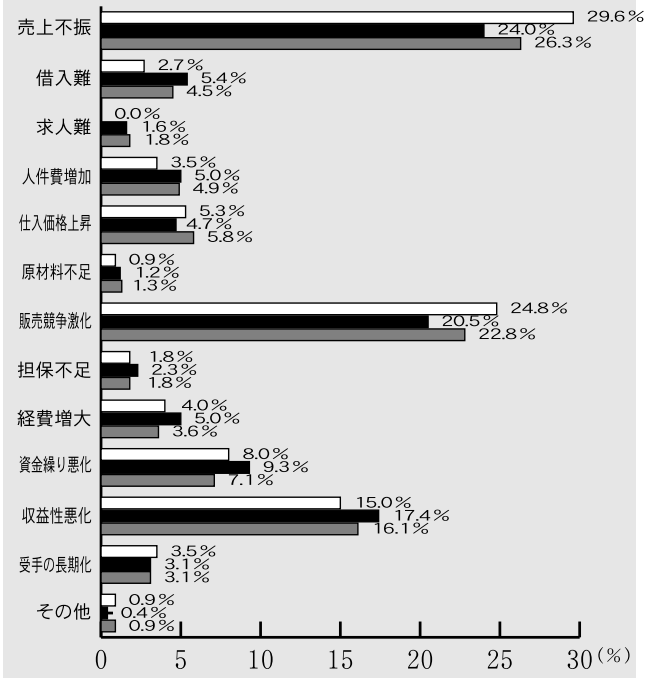
○設備動向は、長期にわたって、低調に推移しているが今期は多少ポイントが増えた。

設問５．景況対策（複数回答）



○景況対策としては、前期同様、仕入の手控え・経費の節減で対応しているようだが、対応していないという回答も増えており、方策につきたムードが漂いはじめているのかもしれない。

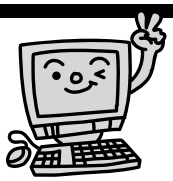
設問６．経営上の問題点（複数回答）



○前期同様、売上不振・販売競争激化・収益性の悪化が上位を占めるが、商品値引き等をしても売上が増えず、収益性の悪化を招いているいることがわかる。

９・10・11月期受講者募集のご案内

パソコン手習屋



当会議所は、今年度もＰＣ研修事業を積極的に実施しておりますので、是非ご活用ください。

９・10・11月期の講座を右記のとおり実施いたしますので、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

月	コース名	開催日	時間
９月	ワープロ中級	12日(木)～13日(金)	13：00～17：00
	データベース基礎	19日(木)～20日(金)	
	パソコン、ＩＴ中級	28日(土)～29日(日)	10：00～16：00
10月	ＰＯＰ作成	５日(土)～６日(日)	10：00～16：00
	ホームページ作成	17日(木)～18日(金)	13：00～17：00
	表計算中級	24日(木)～25日(金)	
11月	データベース基礎	９日(土)～10日(日)	10：00～16：00
	パソコン、ＩＴ中級	14日(木)～15日(金)	13：00～17：00
	表計算中級	21日(木)～22日(金)	

●内　容　・ワープロ中級（文字入力、Wordの基礎操作ができる方）レイアウト、画像の貼り付け、罫線・表の応用
・データベース基礎（文字入力ができる方）Accessの基礎、基本操作
・ホームページ作成（文字入力ができる方）HTMLの基礎、Front Pageの基本操作
・POP作成（文字入力、Wordの基本操作ができる方）Wordを使った効果あるPOP作り
・表計算中級（文字入力、Excelの基本操作ができる方）Excelの応用、演習問題
・パソコン、ＩＴ中級（文字入力ができる方）ファイル・フォルダ管理、メールの活用、画像の貼り付け、Excel・Wordの基本操作

●受講対象　むつ商工会議所会員事業所の従業員、役員、事業主及び家族
●定　員　各コースとも10名（先着順）
●受講料　各コースとも3,000円
●会　場　むつ商工会議所２Ｆ大会議室
●お申込み　むつ商工会議所指導課へTEL、FAX、e-mailにてお申し込みください。
（希望日、事業所名、受講者名をお知らせください。）
TEL 22－2283　FAX22－0167　e-mail：funaba@mutsucci.or.jp

新規創業セミナー開催！

これから創業しようとする方、または創業間もない方を対象に経営セミナーを開催します。

本セミナーでは起業に関する基礎的なことから、経営理念と戦略の立て方、マーケティング感覚のつかみ方からお客様に支持される事業展開、経営計画の立案・見方、資金計画まで演習を中心に実践的なノウハウと手法を習得していただきたいと思います。

●日程　コースⅠ　１日目　平成14年８月10日（土）
（全３日間）２日目　８月24日（土）
３日目　９月７日（土）
●日程　コースⅡ　１日目　平成14年９月８日（土）
（全３日間）２日目　９月21日（土）
３日目　10月５日（土）

・内容　１日目
①マーケティング情報＆データの活かし方
②流通チャンネルを確保する
③お客様に支持される企業を創る
～消費者中心主義のマーケティングを学ぶ～
２日目
①事業計画の位置付け、手順と基本留意事項
②五ヵ年経営計画の作成
３日目
①経営計画書の見直し②経営計画書の発表③まとめ

※コースⅠ、Ⅱとも時間、講義内容は同じです。時間は10時～17時、昼食を用意します。

●対　象　これから事業を始めたい方、事業を始めて２年以内の方。１コース、３日間に参加できる方。
●講　師　（有）地方産業経営研究所
所長　中小企業診断士　田上康朗 氏
（有）若山経営
代表取締役　税理士　若山恵佐雄 氏
●場　所　プラザホテルむつ
●定　員　10名
●受講料　3,000円（１コース３日間）
●お申込、お問い合わせ
むつ商工会議所指導課　電話0175－22－2283

元気の出る経営講習会開催のお知らせ

景気が回復の兆しを見せない中にあって、むつ下北の中小企業の皆さんに何らかの糸口をつかんで頂くこと、また創業や経営革新を目指している方に必要な知識や情報等を提供することを目的に、次のとおり「元気の出る経営講習会」を開催いたしますので、多数のご出席賜りますようご案内申しあげます。

１．日　時　平成14年９月11日（水）
午後３時～
２．会　場　むつ市本町（はねやホテル）
３．テーマ
「今日の景気・明日の景気、経営はこうでなきゃ！」
・流通大改革の時代が到来する／変革の時代こそチャンス
・今世紀の流通はボーダレス／新・販路はこんなに沢山ある
・ＩＴが分からなくても、出来る、儲かる
・1,300兆円の個人資産を狙え／高齢者＋孫市場で大躍進
４．講　師　ジャイロ流通研究所代表
大木ヒロシ　氏

【略歴】昭和24年生まれ、ジャーナリスト出身。商業界、ストアジャーナル、ファッション販売等の商業雑誌に多数執筆。現場の取材を中心にした話で具体性が高く、即役立つと評判。講演回数は年間150回を超える超人気コンサルタント。大手企業から中小専門店までの数多い成功事例を持つ。

５．受講料　無料（一般の方も大歓迎）
６．申込先　むつ商工会議所　ＴＥＬ0175ー22ー2283
中小企業振興部
７．主　催　下北地域中小企業支援センター
むつ商工会議所

LookLook会員さん

No.22　株式会社石鉢組

プロと呼ばれる族（やから）

次は、（株）トーリンさんへバトンタッチです。

コンセプトはプロ

公共事業予算が大幅に削減される中、プロ中のプロをめざし、総合建設業としての役割を果たしていきたいと思います。

（株）石鉢組

代表取締役　石鉢　吉勝

むつ市新町36－14
TEL（0175）22－3284
FAX（0175）23－6659

金融便り

国民生活金融公庫 貸付利率

◎ 普通貸付

5年以内　年 1.95％

5年超　年 2.05％

平成14年６月11日実行分から

◎ 小企業等経営改善貸付

（無担保・無保証人㊎制度）

年 1.65％

平成14年６月11日実行分から

◎ 国の教育ローン

年 2.10％

平成14年６月11日実行分から

平成14年７月29日現在

～知っているつもりの情報化～　パート1

日本人は、つくづく横文字の好きな人種である。四～五年前までは、情報化という言葉が氾濫していたかと思えば、一九九九年に「E－ジャパン構想」が打ち出されるや否や、「IT」という言葉が取って代わってしまった。今では、「IT産業」「IT講習会」「IT機器」という形で、何を示しているのか解らないようなIT用語が多く使われている。

ここで、「IT」という言葉を理解する必要がある。皆さんは既にご存知のことと思うが、「IT（インフォメーション・テクノロジー）」を日本語に訳すと、〃情報・通信・技術〃ということになっている。ちなみに、当初は〃情報・技術〃とだけ訳されて使われていた。情報をどういう手段で伝達するか、伝達する技術をどうするかという観点から〃通信〃という言葉が付け加えられたようである。

ということは、〃情報・通信・技術〃を分解して考えてみれば、分かりやすいのだと思う。

それでは、通信・技術については皆さんの方が良くご存知かと思うので、ここでは「情報」について考えてみる。普段から何気なく使っている「情報」というのは、いったいどんな意味を持ち合せているのか皆さんはおわかりでしょうか？

わかっているようでわからない言葉であり、改めて聞かれると一言で答えられない方がたくさんいると思われる。私も最近までその中の一人であった。

「情報」を辞書で調べてみると〃事情の知らせ〃または〃通信において伝達される信号（ことば・音声・電気的インパルス）のうち、ある種の秩序・規則性・パターンを備えたもの〃（新世紀ビジュアル大辞典より）とあるが、なぜか言葉ではわかるような気がするが、言語明瞭・意味不明という感じを受ける。

「情報」という言葉の語源を調べてみると、元々アメリカの軍事用語で〃インフォメーション〃＝〃ロジスティックス〃というもので、「最前線で活動する部隊を円滑に後方支援する」という意味を持ち合せていたようである。

日本に伝来したのは明治の初期頃で〃インフォメーション〃＝〃インテリジェント〃が同意語で「情報」に訳されたようである。その後、日本では「情報」という言葉が、ごく一部の文献等に使われるようになった。

ちなみに、「情報」という意味を初めて技術的に捉えたのは、今から約五十年ほど前の一九四八年にアメリカのシャノン（C.Shannon）という人が発表した論文の中で〃情報とは二者選択を行うときに、どちらかを選ぶデータである〃と発表したときである。ただし、日本においての「情報」についての定義は、今もってはっきりと定まっていないようである。

つづく

記…ITコーディネーター
提供…下北地域中小企業支援センター

企業を守る共済制度　県火災共済の総合火災共済

○割安な掛金で支払は迅速です。
○各金融機関に質権設定ができます。
○剰余金は、利用分量配当として利用者に還元されます。

火災・落雷・破裂、爆発・風災、雪災・物体の落下、衝突・騒じょう、労働争議・水ぬれ・盗難・水災による共済金の他に臨時費用・残存物取り片付け費用等々の臨時費用見舞金がでます。

総合火災共済掛金－契約額100万円についての年間掛金は下記のとおりです。（単位：円）

構造 / 目的	住宅物件（専用住宅・家財）			一般物件（店舗・事務所等）		
	鉄骨造	木造モルタル等	木造	鉄骨造	木造モルタル等	木造
建物	890	2,510	2,930	2,060	3,310	3,830
家財	1,030	2,800	3,220	2,160	3,500	4,020
設備・什器等	－	－	－	2,110	3,260	3,780
商品・製品等	－	－	－	2,010	3,120	3,640

※その他、鉄筋コンクリート造等の金額や詳細についてはむつ商工会議所・青森県火災共済（協）まで、お問い合わせ下さい。

その他、各種共済を取り扱っております。○中小企業共済の**自動車事故見舞金共済・生命傷害、労働災害補償共済制度**　○全済団の**自動車共済**（任意保険）

保証の範囲がぐーんとワイドに
青森県火災共済協同組合
青森県中小企業共済協同組合
全国商工共済振興事業団青森支所

申込・お問い合わせ
むつ商工会議所指導課　TEL22－2283
青森県火災共済（協）　TEL017－777－8111